

主日礼拝

2021 年 10 月 17 日
午前 10 時 30 分

前奏 「目覚めよ、と我らを呼ぶ声あり」
(M.デュブレ)

参集 (報告・紹介・予定)

招詞

「ヤコブよ、あなたを創造された主は
イスラエルよ、あなたを造られた主は
今、こう言われる。
恐れるな、わたしはあなたを贖う。
あなたはわたしのもの。
わたしはあなたの名を呼ぶ。」 (イザヤ書 43:1)

交読詩編 36:6~10

司式者：主よ、あなたの慈しみは天に
会衆：あなたの眞実は大空に満ちている。
司式者：恵みの御業は神の山々のよう
あなたの裁きは大きいなる深淵。
会衆：主よ、あなたは人をも獣をも救われる。
司式者：神よ、慈しみはいかに貴いことか。
会衆：あなたの翼の陰に人の子らは身を寄せ
司式者：あなたの家に滴る恵みに潤い
会衆：あなたの甘美な流れに渴きを癒す。
司式者：命の泉はあなたにあり
会衆：あなたの光に、わたしたちは光を見る。

祈祷

献金 献金箱が受付に置いてありますので、礼拝前にお献げください。

主の祈り

天にまします我らの父よ、
ねがわくは み名をあげさせたまえ。
み国を来らせたまえ。
みこころの天になるごとく
地にもなさせたまえ。
我らの日用の糧を、今日も与えたまえ。
我らに罪をおかす者を我らがゆるすごとく、
我らの罪をもゆるしたまえ。
我らをこころみにあわせず、
悪より救い出したまえ。
国とちからと栄えとは限りなくなんじのもの
なればなり。
アーメン。

聖書 マタイによる福音書 25:1~13

新約 (新共同訳) p49

「そこで、天の国は次のようにたとえられる。十人のおとめがそれぞれともし火を持って、花婿を迎えに出て行く。そのうちの五人は愚かで、五人は賢かった。愚かなおとめたちは、ともし火は持っていたが、油の用意をしていなかった。賢いおとめたちは、それぞれのともし火と一緒に、壺に油を入れて持っていた。ところが、花婿の来るのが遅れたので、皆眠気がさして眠り込んでしまった。真夜中に『花婿だ。迎えに出なさい』と叫ぶ声がした。そこで、おとめたちは皆起きて、それぞれのともし火を整えた。愚かなおとめたちは、賢いおとめたちに言った。『油を分けてください。わたしたちのともし火は消えそうです。』賢いおとめたちは答えた。『分けてあげるほどはありません。それより、店に行って、自分の分を買って来なさい。』愚かなおとめたちが買いに行っている間に、花婿が到着して、用意のできている五人は、花婿と一緒に婚宴の席に入り、戸が閉められた。その後で、ほかのおとめたちも来て、『御主人様、御主人様、開けてください』と言った。しかし主人は、『はっきりしておく。わたしはお前たちを知らない』と答えた。だから、目を覚ましていなさい。あなたがたは、その日、その時を知らないのだから。」

賛美 573 (1,2,4) 「光かけよ、主のみ民よ」

Ermutert euch, ihr Frommen
詞：Laurentius Laurenti, 1660-1722
GREENLAND
曲：National Psalmody, 1819

1 ひかりかかげよ、主のみたまよ。
2 はなむこがくる、さあむかえよう。▶
4 せかいのぞみ主なるイエスよ、▶

日はかたむいてやみはせまる。
▶ ハレルヤうたい、ひかりかざせ。▶
▶ いまこそここにおいでください。▶

はなむこがくるときにそなえ
▶ うたげととのいとびらひらく。▶
▶ すくいときをわたしたちは▶

いのりつづけよ、目をさまして。
▶ よろこびにみち、さあむかえよう。
▶ こころをあげてともにいわおう。

- ① 光かけよ、主のみ民よ。
日は傾いて 闇はせまる。
花婿が来る 時に備え
祈りつづけよ、目を覚まして。
- ② 花婿が来る、さあ迎えよう。
ハレルヤ歌い、光かざせ。
宴とどのい 扉ひらく。
喜びに満ち、さあ迎えよう。
- ③ 十字架を仰ぎ 苦難に耐え
栄えを受ける 聖徒たちよ、
勝利の冠 主にささげて
神の小羊 ほめたたまえよ。
- ④ 世界の望み 主なるイエスよ、
今こそここに おいでください。
救いの時を 私たちは
心をあけて 共に祝おう。

説教 「皆、眠りこんだけど」

賛美 580 (1,2,3) 「新しい天と地を見たとき」

詞：改訂委員会, 1996

WINSTON-SALEM
曲：Sally Ann Morris, 1952-

1 あたらしいてんと地をみたとき
2 てんよりみこえがひびきわたる、
3 かなしみのなみだいまぬぐわれ、

さ い しの せ かい は す ぎ さ り ゆ き、
「か み の た み と し て う ま れ か わ れ、
な げ き も 死 も な く ろ う く も な い。

あ た ら し い み や こ、 エ ル サ レ ム は
「み か み は わ れ ら と も に い ま す。」
ふ る い も の す べ て す ぎ さ り ゆ き、

は な よ め の よ う な す が た で く る。
「よ ろ こ べ、 た の し め、 お ど り あ が れ。
み よ、 主 は す べ て を あ ら た に す る。

- ① 新しい天と地を見たとき
最初の世界は 過ぎ去りゆき、
新しい都、エルサレムは
花嫁のような 姿で来る。
- ② 天よりみ声が 響き渡る、
「神の民として 生まれ変われ。
み神はわれらと 共にいます。
喜べ、楽しみ、躍り上がれ。
- ③ 悲しみの涙 今ぬぐわれ、
嘆きも死もなく 労苦もない。
古いものすべて 過ぎ去りゆき、
見よ、主はすべてを新たにす。
- 4 マラナ・タ主イエスよ、おいでください。
聖なる小羊、明けの明星。
アルファよ、オメガよ、命の木よ、
尽きない泉よ、永遠の主よ。

派遣

司式者 主は言われます。
「わたしは誰を遣わすべきか。」
会衆 わたしがここにおります。
わたしを遣わして下さい。

祝祷

アーメン

アーメン アーメンアーメン

後奏 「目覚めよ、と我らを呼ぶ声あり」 (J.S.バッハ)

司式 大代 恵
説教 向井 希夫 牧師
奏楽 高橋 孝子

※お立ちになるのが困難な方は、

座ったままで礼拝をお守り下さい。

※讃美歌の最後には、基本的に「アーメン」を付けません。